

統計研修講義計画書

| | | | | | |
|------|-------------------------------------|------|-------------------|------|-----|
| 研修課程 | 統計専門課程 産業連関表の作成・分析 | 講義科目 | 産業連関表を用いた分析 事例 | 講義時間 | 5コマ |
| 講師 | 下田 充 (株)日本アプライドリサーチ研究所研究調査部主任研究員 | | | | |

※1コマ70分

講義のねらい

地方自治体において最もニーズが高いと思われる、「経済波及効果分析」の考え方・手法について、最初は簡単な事例から出発し、最終的には実践が可能なレベルまで達することを目標とする。また、時間に余裕がある場合には、地域産業連関表を用いたシミュレーションを行う。

指導項目と内容

| 指導項目 | 内 容 |
|---------------------------------|--|
| 産業連関表の構造・予備知識 | <ul style="list-style-type: none"> 「産業連関分析の基礎」で学んだ事柄と重複するが、移輸入の扱い方等、後の分析との関連で重要になる箇所を中心に、基礎をざっくりと復習する。(時間の都合上、資料のみ配布し、説明は割愛する予定。) |
| 経済波及効果分析1： 4部門表による分析手順の説明と実習 | <ul style="list-style-type: none"> 経済波及効果分析の手順を4部門表により解説する。はじめにPPTによる解説を行い、次に、エクセル上で同じことを行っていただくことで、全体の手順を理解する。 |
| 経済波及効果分析2： 36部門表を用いた実践的な分析 | <ul style="list-style-type: none"> 37部門表を用いて、実践的な事例により分析を行っていく。支出項目と品目分類との対応、域内調達率の考え方等、重要なポイントを確認がてら、自ら分析シートを作成することで、実際に計算ができるだけのスキルも取得する。 |
| シミュレーション分析 | <ul style="list-style-type: none"> 産業連関表を用いた(域内調達率や移出入の変化に関する)シミュレーションを行う。 |

| | |
|-----------------|--|
| 講義形態 指導方法 | 講義およびパソコン実習 |
| 受講に必要な 基礎知識等 | MS-Excelに関する基礎的な操作(文字および数式の入力、コピー&ペースト等) |